

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	ドレスメーカー学院
設置者名	学校法人杉野学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数	省令で定める基準単位数	配置困難
服飾専門課程	服飾造形科	夜・通信	21 単位	7 単位	
	アパレル技術科	夜・通信	114 単位	10 単位	
	高度アパレル専門科	夜・通信	117 単位	13 単位	
	アパレルデザイン科	夜・通信	22 単位	4 単位	
(備考) ※ファッションビジネス科は令和7年度より学生の募集を停止している					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://www.dressmaker-gakuin.ac.jp/about/teacher/

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名 ファッションビジネス科
(困難である理由) ファッションビジネス科は令和7年度より学生の募集を停止している為、授業は実施していない。

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	ドレスメーカー学院
設置者名	学校法人杉野学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<https://www.sugino.ac.jp/gakuen/about/organization/index.html>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	専門学校 校長 株式会社 代表取締役	2025年6月24日 ～ 2028年6月 定時評議員会	ドレスメーカー学院 の教学面の管理運営
非常勤	元私立大学 副学長	2025年6月24日 ～ 2028年6月 定時評議員会	大学・ドレスメーカー 学院の教学面の管理 運営
非常勤	元私立大学 学部長	2025年6月24日 ～ 2028年6月 定時評議員会	大学の教学面の管理 運営
(備考)			

様式第 2 号の 2－②【(2)-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置】

※ 様式第 2 号の 2－①に掲げる法人以外の設置者（公益財団法人、公益社団法人、医療法人、社会福祉法人、独立行政法人、個人等）は、この様式を用いること。

学校名	
設置者名	

1. 大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織

名称	
役割	

2. 外部人材である構成員の一覧表

前職又は現職	任期	備考（学校と関連する経歴等）
(備考)		

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	ドレスメーカー学院
設置者名	学校法人杉野学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 服飾造形科(2年制) アパレル技術科(3年制) 高度アパレル専門科(4年制) アパレルデザイン科(進学クラス1年制) 【作成について】 授業計画(シラバス)は授業科目ごとに担当する全教員が学院所定の「シラバス作成のためのガイドライン」に沿って統一様式で作成している。記載項目は、担当教員の実務経験と授業内容との関連性を含めた「授業の方針・概要」から始まり、「到達目標(学修成果)」、「卒業認定の方針と該当授業科目の関連」、「授業計画」と続く。「成績評価の方法と基準」は、当学院の評価項目(授業態度・姿勢、試験、課題、検定試験結果、企業評価)を全科目統一表記し、科目に適した比率を表示している。他にも「フィードバック方法」「教科書」「オフィスアワー」「参考文献」の項目を設けている。以上シラバスは令和7年度より導入した教務管理システム(キャンパスマジック)で閲覧できるようになっている。 【時期について】 授業実施年度の前年11月～12月よりクラス担当の専任教員と非常勤講師で授業内容を検討する。専任教員には12月に、非常勤講師には翌年1月に授業計画を依頼する。提出された授業計画については、内容を第三者がチェックし修正等をして3月初旬に完成させる。学生は4月初旬からキャンパスマジックで閲覧でき、その後HPでも公開している。	
授業計画書の公表方法	https://www.dressmaker-gakuin.ac.jp/dept/creative/ https://www.dressmaker-gakuin.ac.jp/dept/tech/ https://www.dressmaker-gakuin.ac.jp/dept/high/ https://www.dressmaker-gakuin.ac.jp/dept/adesign/
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 単位授与は、学則第6章の規定に従い実施している。 履修した授業科目は、担当教員が総合的に判断・評価する。評価項目には「授業態度・姿勢」、「授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)」、「期末試験・課題(プレゼンテーション含む)」があり、課題の制作だけでなく、プレゼンテーションを通じて自分の意見や考えを述べる事で理解度を測りながら複合的に評価をする。また、「外部評価・検定試験結果」も該当科目において評価基準としており、授業科目の内容により適切な方法で厳格かつ適正に評価する。評価項目の評点を合計し、100点満点における60点以上を合格としている。 成績評価、進級・卒業判定の基準は学生全員に配布している冊子「Campus Guides & Diary」、各授業科目の評価方法は「授業計画(シラバス)」に明記して学生に周知し、適切に運用している。	
3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。	
(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 成績評価はSABCを合格、Dを不合格としている。 その評価基準は以下の通りである。 S(特に優れている): 100~90点 A(優れている): 89~80点 B(妥当と認められる): 79~70点 C(合格と認められる): 69~60点 D(合格と認められる最低限の成果に達していない): 59点以下 本学では作品を採点する科目も多く、その場合には、「平均的な基準はB評価」とし、また、成績評価の際の評価項目を「授業態度・姿勢」、「授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)」、「期末試験・課題(プレゼンテーション含む)」、「外部評価・検定試験結果」の4項目に全科目統一することで、偏ることなく、適切に評価できる方法をとっている。その項目は「成績評価の方法と基準」としてシラバスに明示している。成績分布状況については、学生の成績の平均点により把握している。	
客観的な指標の 算出方法の公表方法	https://www.dressmaker-gakuin.ac.jp/m_act/evaluation/
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。	

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 卒業認定のための必須科目の学科担当教員がシラバスに明記した方針に基づき、ディプロマポリシーに掲げる科別の教育目的に従って目標を定めている。服飾関係の専門的職業で活躍できる人材育成を目指して構成されたカリキュラムの必須科目の学修成果を評価し卒業認定を行っている。 3 年生以上の上級クラスの卒業制作の成績評価は、複数名の外部審査員を招きコンテスト形式でプレゼンテーションも含め、客観評価による認定を実施している。 また、2 年制の科においても卒業制作の成績評価は数名の外部審査員を招き、客観評価による認定を実施している。 卒業認定については、「ディプロマポリシー」(称号付与の方針)に明記し、学生全員に配布している冊子「Campus Guide s & Diary」と HP に掲載し、公表している。	
卒業の認定に関する 方針の公表方法	https://www.dressmaker-gakuin.ac.jp/about/policy/

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	ドレスメーカー学院
設置者名	学校法人杉野学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.sugino.ac.jp/gakuen/governance/finance/
収支計算書又は損益計算書	https://www.sugino.ac.jp/gakuen/governance/finance/
財産目録	https://www.sugino.ac.jp/gakuen/governance/finance/
事業報告書	https://www.sugino.ac.jp/gakuen/governance/finance/
監事による監査報告（書）	https://www.sugino.ac.jp/gakuen/governance/finance/

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士	
服飾・家庭		服飾専門課程	服飾造形科		○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類					
			講義	演習	実習	実験	実技	
2 年	昼間	72 単位	9 単位	35 単位	45 単位			
			89 単位					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
80 人		51 人	3 人	4 人	15 人	19 人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の2.及び3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
（概要）担当教員が課題制作の進捗状況を常に把握しながら、放課後に教室を開放して自習させるなど、遅れが生じることのないように支援している。 授業担当教員が学生の相談を受け付ける時間を「オフィスアワー」としてシラバス上で公開しているほか、随時、クラス担任教員を介してコミュニケーションをとり、支援していくことが可能となっている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
26 人 (100%)	12 人 (46.2%)	11 人 (42.3%)	3 人 (11.5%)
（主な就職、業界等） アパレルメーカー、製造業、小売業などファッション関連企業 ㈱辻洋装店、㈱都ドレス、㈱アン・コットン、㈱おしゃれ工房、㈱iDA、㈱イーカムグループ、 ㈱インター・ベル、㈱ベベ、㈱パリミキ など			
（就職指導内容） 就職ガイダンス（業界・企業研究、エントリーシート・履歴書対策講座、面接対策講座 など）就職個別面談（就職相談、書類添削、面接練習など）			
（主な学修成果（資格・検定等）） ファッション色彩能力検定、ファッションビジネス能力検定、パターンメイキング技術 検定、フォーマルスペシャリスト検定			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
65 人	10 人	15.4%
（中途退学の主な理由） 健康上の理由に続き、学業遅滞を契機とする専攻分野不適応や進路再検討が退学理由 の半数を占める。		
（中退防止・中退者支援のための取組） 学院ではクラス担任と院長による相談、及び保護者への連絡、更に科目担当教員によ る働きかけの活用、メンタル面では専任のカウンセラーを配置した学生相談室や看護 師が在室する医務室と連携して、学生に接しながら、関係者が協力して中途退学の予 防を図っている。 クラス担任は日常の出欠席、遅刻の確認と学校生活、授業態度等の確認を定期的及び 必要により随時行い、欠席、遅刻、作品遅滞の多い学生の状況を把握し、退学の兆候 を見逃さないようにしている。 また、授業科目ごとにオフィスアワーを設けており、授業担当教員に質問しやすい環 境を整えることで、中途退学者の予防の強化に努めている。 毎年、1年生には入学時と11月の2回、2年生では11月に1回保護者会を実施して いるが、問題のある学生には保護者との連携を密にして、欠席、遅刻、課題遅滞の状 況を伝え、退学の予防に努めている。 「退学・除籍経緯報告書」を令和7年度より新しいフォーマットに変更し、「学籍移 動・経緯報告書」として休学・復学も含めるものとした。これにより健康上の理由で あっても「病気・けが」なのか「心身耗弱」によるものなのかが区別され、より理由 がわかるようになった。また令和7年度より院長と面談する事に加え、学生の状況に 応じて休学して復学を目指すよう働きかけるなど退学防止に努めている。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
服飾・家庭		服飾専門課程	アパレル技術科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3 年	昼間	112 単位	21 単位	34 単位	87 単位		
			142 単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60 人		24 人	0 人	4 人	16 人	20 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第 2 号の 3 【厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 1. を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第 2 号の 3 【厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 2. 及び 3. を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第 2 号の 3 【厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 4. を参照
学修支援等
（概要）担当教員が課題制作の進捗状況を常に把握しながら、放課後に教室を開放して自習させるなど、遅れが生じることのないように支援している。 授業担当教員が学生の相談を受け付ける時間を「オフィスアワー」としてシラバス上で公開しているほか、随時、クラス担任教員を介してコミュニケーションをとり、支援していくことが可能となっている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
8 人 (100%)	0 人 (0.0%)	5 人 (62.5%)	3 人 (37.5%)
（主な就職、業界等） アパレルメーカー、製造業、小売業などファッション関連企業 ㈱TS DESIGN、㈱エイガールズ、㈱那須夢工房、㈱大久保洋服店、ボン・シャルル㈱ など			
（就職指導内容） キャリアプランニング（業界・企業研究、エントリーシート・履歴書対策講座、面接対策講座など）就職個別面談（就職相談、書類添削、面接練習など）			
（主な学修成果（資格・検定等）） ファッション色彩能力検定、ファッションビジネス能力検定、パターンメイキング技術検定、フォーマルスペシャリスト検定			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
20 人	0 人	0%
(中途退学の主な理由) 退学者なし		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学院ではクラス担任と院長による相談、及び保護者への連絡、更に科目担当教員による働きかけの活用、メンタル面では専任のカウンセラーを配置した学生相談室や看護師が在室する医務室と連携して、学生に接しながら、関係者が協力して中途退学の予防を図っている。 クラス担任は日常の出欠席、遅刻の確認と学校生活、授業態度等の確認を定期的及び必要により随時行い、欠席、遅刻、作品遅滞の多い学生の状況を把握し、退学の兆候を見逃さないようにしている。 また、授業科目ごとにオフィスアワーを設けており、授業担当教員に質問しやすい環境を整えることで、中途退学者の予防の強化に努めている。 毎年、1 年生には入学時と 11 月の 2 回、2 年生では 11 月に 1 回保護者会を実施しているが、問題のある学生には保護者との連携を密にして、欠席、遅刻、課題遅滞の状況を伝え、退学の予防に努めている。 「退学・除籍経緯報告書」を令和 7 年度より新しいフォーマットに変更し、「学籍移動・経緯報告書」として休学・復学も含めるものとした。これにより健康上の理由であっても「病気・けが」なのか「心身耗弱」によるものなのかが区別され、より理由がわかるようになった。また令和 7 年度より院長と面談する事を加え、学生の状況に応じて休学して復学を目指すよう働きかけるなど退学防止に努めている。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
服飾・家庭		服飾専門課程	高度アパレル専門科		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4 年	昼間	163 単位	18 単位	52 単位	99 単位		
			169 単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40 人		29 人	1 人	4 人	22 人	26 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
(概要) 様式第 2 号の 3 【厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 1. を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第 2 号の 3 【厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 2. 及び 3. を参照

卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 担当教員が課題制作の進捗状況を常に把握しながら、放課後に教室を開放して自習させるなど、遅れが生じることのないように支援している。 授業担当教員が学生の相談を受け付ける時間を「オフィスアワー」としてシラバス上で公開しているほか、随時、クラス担任教員を介してコミュニケーションをとり、支援していくことが可能となっている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
6 人 (100%)	0 人 (0.0%)	5 人 (83.3%)	1 人 (16.7%)
(主な就職、業界等) アパレルメーカー、商社、製造業、小売業などファッション関連企業 (株)ジュン、クロスプラス(株)、(株)エレメントルール、(株)TOKYOBASE など			
(就職指導内容) キャリアプランニング（業界・企業研究、エントリーシート・履歴書対策講座、面接対策講座など）就職個別面談（就職相談、書類添削、面接練習など）			
(主な学修成果（資格・検定等）) 洋裁技術認定試験、ファッション色彩能力検定、ファッションビジネス能力検定、ファッション販売能力検定、パターンメイキング技術検定、フォーマルスペシャリスト検定			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
27 人	2 人	7.4%
(中途退学の主な理由) 健康上の理由に続き、学業遅滞を契機とする専攻分野不適応や進路再検討が退学理由の半数を占める。		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学院ではクラス担任と院長による相談、及び保護者への連絡、更に科目担当教員による働きかけの活用、メンタル面では専任のカウンセラーを配置した学生相談室や看護師が在室する医務室と連携して、学生に接しながら、関係者が協力して中途退学の予防を図っている。 クラス担任は日常の出欠席、遅刻の確認と学校生活、授業態度等の確認を定期的及び必要により随時行い、欠席、遅刻、作品遅滞の多い学生の状況を把握し、退学の兆候を見逃さないようにしている。 また、授業科目ごとにオフィスアワーを設けており、授業担当教員に質問しやすい環境を整えることで、中途退学者の予防の強化に努めている。 毎年、1年生には入学時と11月の2回、2年生では11月に1回保護者会を実施して		

いるが、問題のある学生には保護者との連携を密にして、欠席、遅刻、課題遅滞の状況を伝え、退学の予防に努めている。

「退学・除籍経緯報告書」を令和7年度より新しいフォーマットに変更し、「学籍移動・経緯報告書」として休学・復学も含めるものとした。これにより健康上の理由であっても「病気・けが」なのか「心身耗弱」によるものなのかが区別され、より理由がわかるようになった。また令和7年度より院長と面談する事に加え、学生の状況に応じて休学して復学を目指すよう働きかけるなど退学防止に努めている。

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士	
服飾・家庭		服飾専門課程	アパレルデザイン科					
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類					
			講義	演習	実習	実験	実技	
1 年	昼間	36 単位	2 単位	9 単位	31 単位			
			42 単位					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
10 人		10 人	0 人	1 人	9 人	10 人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の2.及び3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
（概要）担当教員が課題制作の進捗状況を常に把握しながら、放課後に教室を開放して自習させるなど、遅れが生じることのないように支援している。 授業担当教員が学生の相談を受け付ける時間を「オフィスアワー」としてシラバス上で公開しているほか、随時、クラス担任教員を介してコミュニケーションをとり、支援していくことが可能となっている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
14人 (100%)	0人 (0.0%)	13人 (83.3%)	1人 (16.7%)

(主な就職、業界等) アパレルメーカー、製造業、小売業などファッション関連企業 (株)銀座マギー、(株)ジュン、チャコット(株)、(株)アルページュ、(株)シティーヒル、(株)トレジャー・ファクトリー、(株)メルローズ、(株)adaptretailing、P V H ジャパン、(株)iDA など
(就職指導内容) 就職ガイダンス（業界・企業研究、エントリーシート・履歴書対策講座、面接対策講座など）就職個別面談（就職相談、書類添削、面接練習など）
(主な学修成果（資格・検定等）) 進学課程のため検定等は既に取得済みの学生が多く、令和7年度は新たに取得した学生はいなかった。希望する場合は洋裁技術認定試験、ファッション色彩能力検定、ファッションビジネス能力検定、パターンメイキング技術検定を受験する事ができ、その際の学習サポートも行っている。
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
14 人	0 人	0%
(中途退学の主な理由) 退学者なし		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学院ではクラス担任と院長による相談、及び保護者への連絡、更に科目担当教員による働きかけの活用、メンタル面では専任のカウンセラーを配置した学生相談室や看護師が在室する医務室と連携して、学生に接しながら、関係者が協力して中途退学の予防を図っている。 クラス担任は日常の出欠席、遅刻の確認と学校生活、授業態度等の確認を定期的及び必要により随時行い、欠席、遅刻、作品遅滞の多い学生の状況を把握し、退学の兆候を見逃さないようにしている。 また、授業科目ごとにオフィスアワーを設けており、授業担当教員に質問しやすい環境を整えることで、中途退学者の予防の強化に努めている。 毎年、1年生には入学時と11月の2回、2年生では11月に1回保護者会を実施しているが、問題のある学生には保護者との連携を密にして、欠席、遅刻、課題遅滞の状況を伝え、退学の予防に努めている。 「退学・除籍経緯報告書」を令和7年度より新しいフォーマットに変更し、「学籍移動・経緯報告書」として休学・復学も含めるものとした。これにより健康上の理由であっても「病気・けが」なのか「心身耗弱」によるものなのかが区別され、より理由がわかるようになった。また令和7年度より院長と面談する事を加え、学生の状況に応じて休学して復学を目指すよう働きかけるなど退学防止に努めている。		

②学校単位の情報

a)「学生納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考（任意記載事項）
服飾造形科	150 千円	580 千円	225 千円	施設設備費 140 千円実験実習費 85 千円 休学時在籍料(前・後期各 50 千円)
アパレル技術科	150 千円	580 千円	225 千円	施設設備費 140 千円実験実習費 85 千円 休学時在籍料(前・後期各 50 千円)
高度アパレル 専門科	150 千円	580 千円	225 千円	施設設備費 140 千円実験実習費 85 千円 休学時在籍料(前・後期各 50 千円)
アパレル デザイン科	150 千円	580 千円	225 千円	施設設備費 140 千円実験実習費 85 千円 休学時在籍料(前・後期各 50 千円)
修学支援（任意記載事項）				
本学では経済的理由により修学困難な学生に対して、また志願者に対しは受験時に入学の際に係る納付金納入の軽減措置として、以下の給付型奨学金制度を設けている。 在学生対象:杉野学園奨学金、杉野学園利子補給奨学金、杉野学園緊急奨学金 新入生対象:同窓生特別免除制度(選考料免除)、杉野学園新入生奨学金、全国ファッションデザインコンテスト奨励金(本学主催による「全国ファッションデザインコンテスト」高校生部において優秀な成績を修めたもの)に入学金を免除している。				

b) 学校評価

自己点検評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.dressmaker-gakuin.ac.jp/about/disclosure/		
第三者評価の基本方針（実施方法・体制）		
教育活動及び学校運営の現状を客観的な視点から検証し、本学院の課題を明確にするとともに継続的な改善につなげる機会として位置付ける。 実施方法は、自己評価報告書の項目ごとに根拠である資料（エビデンス）を収集し、現状分析及び課題抽出を行い、第三者評価機関による書面調査、ヒアリング調査、訪問調査を受け最終評価を受ける。 理事長を統括責任者とし、院長、教務・事務各部門及び事務局が連携して組織的に取り組んでいる。		
第三者評価の委員		
所属	任期	種別
特定非営利活動法人職業教育評価機構		第三者評価（認証評価）機関
第三者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) http://www.dressmaker-gakuin.ac.jp/about/disclosure/hyouka/		

(備考)

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.dressmaker-gakuin.ac.jp/
--

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード（13桁）	H113310900029
学校名（〇〇大学 等）	ドレスメーカー学院
設置者名（学校法人〇〇学園 等）	学校法人 杉野学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者数 ※括弧内は多子世帯の学生（内数） ※家計急変による者を除く。		24 人 （-人）	22 人 （-人）	24 人 （-人）
内 訳	第Ⅰ区分	- 人	- 人	
	（うち多子世帯）	(-人)	(-人)	
	第Ⅱ区分	- 人	- 人	
	（うち多子世帯）	(0人)	(0人)	
	第Ⅲ区分	- 人	- 人	
	（うち多子世帯）	(-人)	(0人)	
	第Ⅳ区分（理工農）	0 人	0 人	
	第Ⅳ区分（多子世帯）	- 人	- 人	
	区分外（多子世帯）	- 人	- 人	
家計急変による 支援対象者（年間）				0 人 （0人）
合計（年間）				24 人 （-人）
(備考)				

※ 本表において、多子世帯とは大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第8号）第4条第2項第1号に掲げる授業料等減免対象者をいい、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分（理工農）とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第2号イ～ニに掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。） 、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	- 人	0 人	0 人
修得単位数が「廃止」の基準に該当 （単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が廃止の基準に該当）	0 人	0 人	0 人
出席率が「廃止」の基準に該当又は学修意欲が著しく低い状況	0 人	0 人	0 人
「警告」の区分に連続して該当 ※「停止」となった場合を除く。	0 人	0 人	0 人
計	- 人	0 人	0 人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の（2）のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。） 、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	0人	前半期	0 人	後半期	0 人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

(1) 停学(3月未満の期間のものに限る。)又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、停止を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学(修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。)、高等専門学校(認定専攻科を含む。)、及び専門学校(修業年限が2年以下のものに限る。)	
	年間	前半期	後半期
GPA等が下位4分の1	0人	0人	0人

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学(修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。)、高等専門学校(認定専攻科を含む。)、及び専門学校(修業年限が2年以下のものに限る。)	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が「警告」の基準に該当	0人	0人	0人
GPA等が下位4分の1	-人	0人	-人
出席率が「警告」の基準に該当又は学修意欲が低い状況	0人	-人	-人
計	-人	-人	-人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。